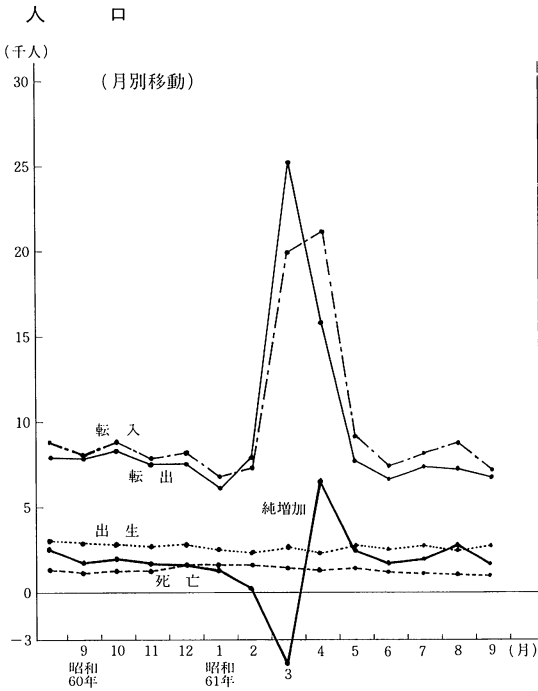
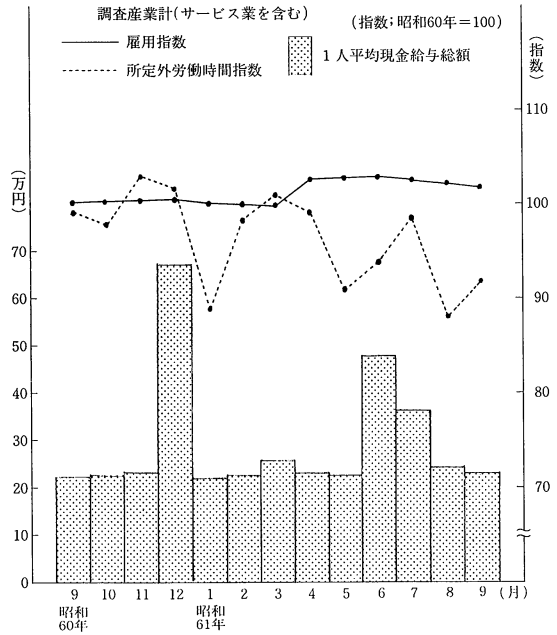


● 今月の主な動き

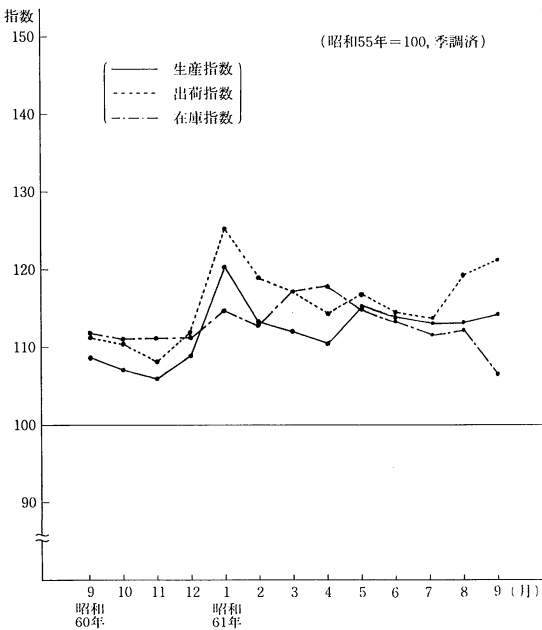
今月の主な動き



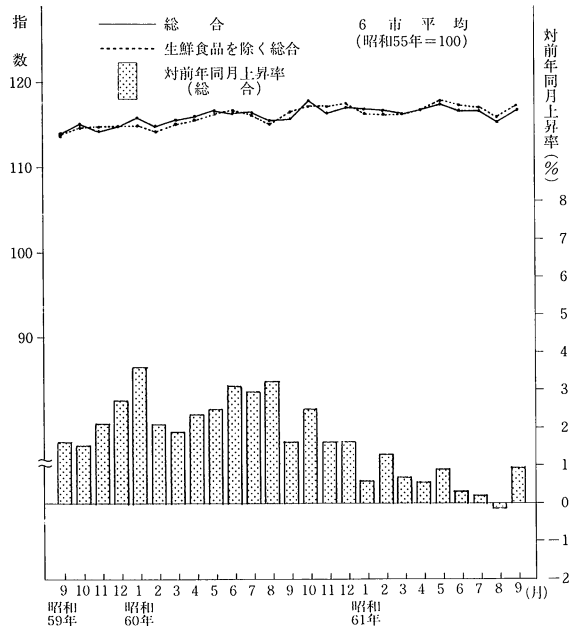
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部 統計課

■ 人 口 (10月1日)

本県の人口は、9月中に1,938人増加し、10月1日現在で2,746,310人(男1,368,820人、女1,377,490人)となった。昨年10月1日現在と比較すると、21,305人(0.78%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,578人(出生2,803人、死亡1,225人)、社会動態で360人(転入7,250人、転出6,890人)、そ

れぞれ増加した。

市町村別では、増加が14市53町村、減少が5市19町村、増減なしが1村である。

世帯数についても、536世帯増加して、769,838世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (9月)

1. 平均賃金の推移

9月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は234,947円で前月に比べ3.3%減(前年同月比1.4%増)であった。

このうちきまって支給する給与は232,848円で前月に比べ1.2%増(前年同月比1.2%増)であり、特別に支払われた給与は2,099円で前年同月に比べ400円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は177.8時間で、前月に比べ9.8%増(前年同月比1.2%減)であった。

このうち所定内労働時間数は161.1時間で、前月に比べ10.4%増(前年同月比0.5%減)であり、所定外労働時間数は16.7時間で、前月に比べ4.4%増(前年同月比7.7%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると102.3で、増減率は前月に比べ0.1%減、前年同月に比べ1.8%増であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(9月)

本県における昭和61年9月の“鉱工業指数。(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が114.3、出荷が121.5、在庫が106.8で前月比は、生産が1.0%の上昇、出荷が2.0%の上昇、在庫が4.7%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が5.4%の上昇、出荷が9.0%の上昇、在庫が4.4%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、輸送機械工業、石油・石炭製品工業、一般機械工業等が上昇し、鉱業、精密機械工業等が低下した。出荷では、窯業・土石製品工業、

輸送機械工業、一般機械工業等が上昇し、鉱業、精密機械工業等が低下した。在庫では、鉱業、輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、食料品・たばこ工業、非鉄金属工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財、資本財等が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。出荷では、資本財、非耐久消費財等すべての財別で上昇した。在庫では、資本財、建設財等が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (9月)

昭和61年9月の茨城県消費者物価指数は、総合で116.9(昭和55年=100)となり、前月比1.3%、前年同月比0.9%の上昇となった。

今月上がった主な項目……シャツ・下着24.6%、衣料18.0%、魚介類3.9%(うち、生鮮魚介7.3%)

今月下がった主な項目……野菜・海草△3.4%(うち、生鮮野菜△5.7%)、他の光熱△2.5%、教養娯楽耐久財△1.1%

生鮮食品を除く総合は117.3となり、前月比1.3%、前年

同月比0.5%の上昇となった。

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	116.9	1.3	0.9	保健医療	118.8	0.1	1.5
食 料	115.8	0.2	1.2	交通通信	110.2	0.9	△1.3
住 居	121.6	0.1	2.8	教 育	146.0	0.0	4.1
光熱・水道	100.8	△0.3	△6.8	教養娯楽	118.7	△0.9	1.3
家具・家用品	110.7	0.4	0.1	諸 雑 費	118.4	0.3	3.4
被服及び履物	122.5	14.8	1.0	生鮮食品を除く総合	117.3	1.3	0.5